



# 山田こうじです！

## コロナ禍から営業とくらし、年末支援の緊急申し入れ！

### 年末年始の危険な一歩

年の瀬を控え「持続化給付金の一回きりの給付では、すでに底をついている」「資金が枯渇し、年末にかけて不安」等々、深刻な声が寄せられています。

日本共産党京都市会議員団は、新型コロナウイルス感染症が急拡大するなか、年末支援の緊急申し入れを行いました。

年明けの3次補正を待たず、7兆円の予備費を活用し、新たな対策を打つよう京都市に対し国に求めるよう申し入れました。

### 感染対策の徹底を！

十分な検査・保護・追



跡が取れるよう、保健所と衛生環境研究所などの体制強化が必要です。

医療機関や高齢者施設等の重症化リスクの高い分野への定期的検査、感染者が発生した場合、施設全体を対象にした、速やかな全員検査の実施を求めました。

感染者、重症者の増加に対応できる医療体制の確保を行い、医療機関への減収補てん等も求めました。

### 市民の暮らしを支援を！

年末にかけて、閉店・廃業が加速する可能性があります。

年末までに直接支援が届くよう、自治体の裁量で地域事情や特性に応じて自由に使える交付金の支給が必要です。

コロナ特例として、持続化給付金、雇用調整助成金、家賃支援給付金、社会福祉協議会の緊急小口貸付、総合支援貸付、住居確保給付金等の継続や2回目の給付・貸付の実施を求めました。

### 経済の危機を乗り切る

今の日本経済の危機的な状況は消費税増税に加え、コロナ感染症拡大によるものです。2020年4～6月期は、リーマンショック直後を上回る戦後最悪のマイナス28.1%となりました。

多くの国々では、景気対策として日本の消費税にあたる付加価値税の減税を行っています。消費税の減税とともに、経営困難な中小業者の消費税の免除を求めました。

### 年末年始の危険な一歩

年末年始の区役所の相談体制や、「年越し給付金」の創設、持続化給付金や家賃支援給付金の制度対象外の、市独自の給付金の創設を求めました。

水道・下水道料金の減額・免除、中小企業者への雇用保険料補助を行う等、雇用維持のための助成なども求めています。芸術関係者への補助、「学生支援緊急給付金」の再度支給なども求めます。

## 北陸新幹線を考えるつどい

11月18日に京都市で発生した道路陥没事故は、直下の大深度で東京外郭環状道路のトンネル工事の関連が疑われています。

因果関係の調査が行われていますが、未だに原因不明です。

北陸新幹線延伸工事でも大深度が計画され、市内の各地でボーリング調査が行われています。

11月28日に、



11月18日に京都市で発生した道路陥没事故は、直下の大深度で東京外郭環状道路のトンネル工事の関連が疑われています。残土の処理や、地下水の枯渇など、環境破壊に対し危惧する声が多く寄せられました。

まごとおきこ

山田こうじです！

NO.241

2020年秋の総行動実行委員会主催で「市民税減免制度廃止」撤回を求める緊急集会が、12月8日、ハートピア京都市大会議室で行われ、当事者から切実な声が寄せられました。

冒頭、市の職員さんが「毎日パソコンを起動するたびに、500億円の財源不足の画面を見せつけられる」との報告に京都市の異常さに驚愕しました。

京都市市税減免制度は他都市にはない特異な制度どころか、市民の暮らしを守る優れた制度です。

行財政審議会で、歳出削減の標的にされているのは、敬老乗車証など国基準を上回る住民サービスです。

「国基準以外は何もしない。何のために京都市はあるのか！」と激しい怒りの発言も。

「社会的な課題の解決、これを税金で、公務員が、行政がやらなければならぬ」という時代は終わっている」と発言する現市長こそ、コロナ禍で終わっています。